

流通経済大学 学報

RKU Today

AUTUMN / WINTER 2017-2018

ロンドン留学余話

ロンドンの片隅で



流通経済大学

vol.34

04 ロンドン留学余話

文・写真：前田 聡（法学部准教授）

ロンドンの片隅で

08 Close Up!

流通経済大学

[教職員紹介]

10 【馬場啓一のRKUウォッチング】

文：馬場啓一（法学部教授）

文武両道のルーキー

坂本侑翼さん スポーツ健康科学部1年・ラグビー部

12 【OB/OG訪問】立川が聞く。

取材：立川和美（社会学部教授）

今井利彦さん（1982年3月卒業・南総通運株式会社代表取締役社長）

14 流通経済大学創立50周年

流通経済大学50周年記念事業募金にご協力いただいた皆様(3)

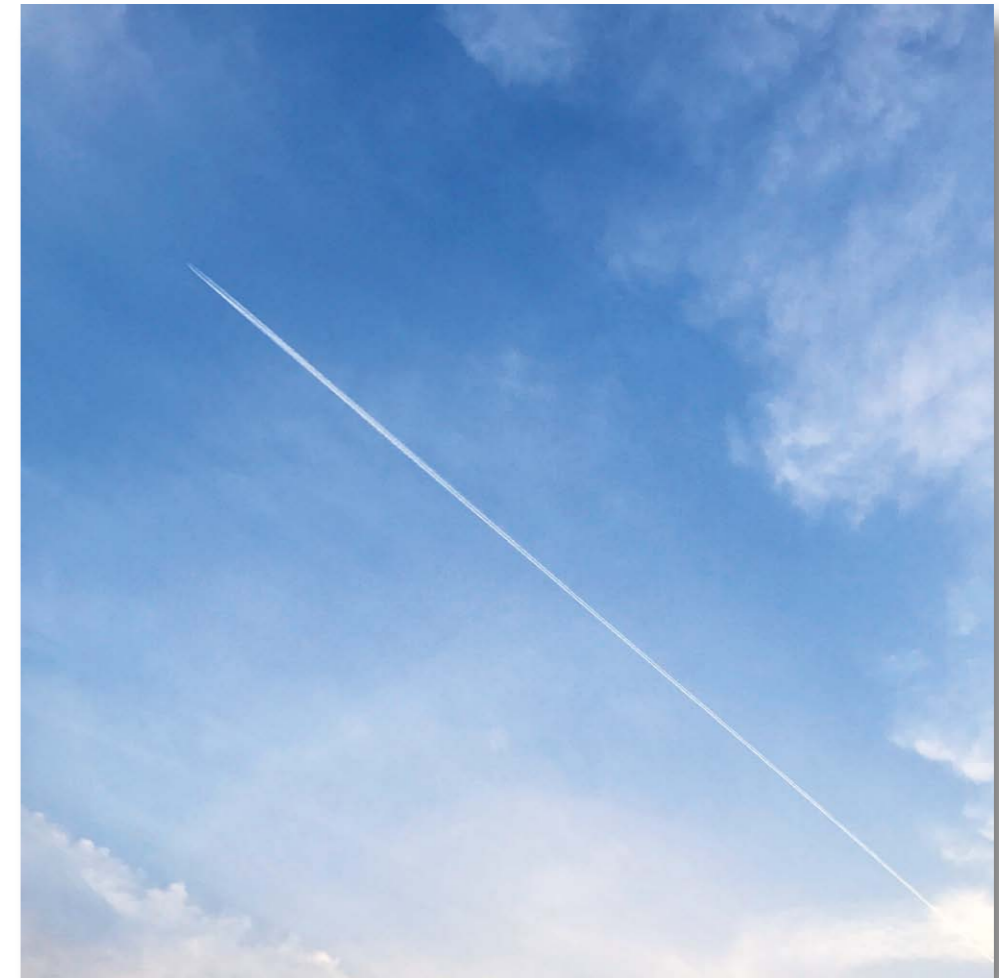
15 付属柏高等学校ニュース

付属柏高校部活動の活躍(文化部編)

16

NEWS & TOPICS

第52回つばね祭開催／父母懇談会開催／永年勤続表彰／留学生が「チーバくん大使」に／交換留学生修了式／校友会奨学金一般奨学生がオーストラリアへ留学／クロード・ベルナル・リヨン第一大学と協定締結／青年海外協力隊に関する連携覚書署名式／講座「響き合う歴史と宗教」全4回終了／日本ラグビーフットボール協会がスポーツ庁長官感謝状受章／名誉教授の称号授与／クリスマスコンサート／陸上競技部員が世界ランキング19位／軟式野球部が全国大会に出場／サッカー部からU-20日本代表メンバー／女子ハンマー投で優勝、3位／バントワリングの世界大会で銀メダル／アキアボードの全日本大会で優勝／クライミング・ワールドカップに出場／女子バスケットボール部がリーグ3部昇格／流通経済大学出版会から新刊のお知らせ／新松戸キャンパスでの保育士養成を申請中



十八歳で選挙権を得る。この施策により、先の総選挙では新たに多くの大学生が投票を行った。初めてのことで、とまどう人もいただろう。しかし投票する権利を行使し、国政に参加することで、これまで以上に厳しい目を、政治に向けることに目覚めたはずだ。このことを忘れず今後も、政治に関心を持ち続けること、それが重要である。未来はそういう若者が、拓くのだ。



Brexit 後のロンドン

「世界が180度変わった」かのような報道。「これは大変だ」と思い、といて別に何かできるわけでもないのですが、留学に同行した妻を伴って「ビッグベン」に近い首相官邸(所在地から「ダウニング通り10番地」(10 Downing

2016年のイギリスを語る上で欠かせないのは、何と言っても世界に衝撃を与えたBrexit(イギリスのEU離脱)を巡る国民投票とその結果でしょう。実のところロンドンで生活をしていると「Brexit」まさか!」「残留で決まりだよ」といった反応にしか出会わなかったのです。実際街を歩いていると、離脱反対派の運動(パンフレットを配ったり、通りがかりの人と議論したりしていました)とは遭遇しなくても、離脱賛成派の運動に出会うことはほぼ皆無。ところが投票日の翌日、目覚めてみるとまるで

2016年のイギリスを語る上で欠かせないのは、何と言っても世界に衝撃を与えたBrexit(イギリスのEU離脱)を巡る国民投票とその結果でしょう。実のところロンドンで生活をしていると「Brexit」まさか!」「残留で決まりだよ」といった反応にしか出会わなかったのです。実際街を歩いていると、離脱反対派の運動(パンフレットを配ったり、通りがかりの人と議論したりしていました)とは遭遇しなくても、離脱賛成派の運動に出会うことはほぼ皆無。ところが投票日の翌日、目覚めてみるとまるで

「Street」とも称される)の様子を見に行きました。すでにその日の朝には当時のキャメロン首相が辞任を表明したこともあつてか、目立った動きはなかったのですが、首相官邸の向かい側で10代の少女たちが10名近く、段ボールに「16、17歳にも投票させろ!」と書いてシュプレヒコールをしていた姿が印象

的でした(18歳選挙権がようやく認められた日本との違いを考えると、これはなかなか示唆的であるように思いますが、どうでしょうか?)。もつとも、このように書くところでは離脱反対一色だったのか、という印象を受けるかも知れません。実際にロンドンでは離脱反対派の票

が多かったのは確かです。私の周辺では離脱に好意的な人はほぼいなかったと思うのですが、ある週末にたまたま友人たちと立ち寄ったパブ(イギリスの伝統的な酒場)は、「ユニオンジャック」を掲げて離脱賛成派の勝利のお祝いムード一色。友人たちとともに苦笑しながら店を後にしたことを覚えています。



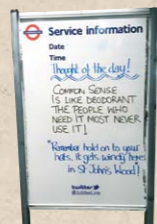
—ロンドン留学余話— ロンドンの片隅で

文:写真 前田 聡 (法学部准教授)

2016年4月から1年間、本学の教員留学制度(いわゆる「在外研究」)により、イギリスはロンドン大学高等法学研究所(Institute of Advanced Legal Studies, University of London)で、主として英米の名誉毀損法の研究に従事してきました。本学の皆様の物心両面にわたるご支援に心から感謝申し上げます。ここでは妻とともにロンドンで過ごした日々を、思いつくままに書き連ねたいと思います。幸いロンドンでは、日々の暮らし、研究環境、そして何より人々との出会いに恵まれました。ロンドンでの1年間を語るならば、到底与えられた紙数に収めようもないですが、その一端をご笑覧いただければと思います。



Abroad Experience in London



「多様性の都」 ロンドンと その「危機？」



ロンドンで離脱反対派が優勢だったことには何か理由があるのでしょ
うか。ひとつには、ロンドンが多数
にして多様な移民を受け入れる、
言ってみれば「多様性の都」である
点が大きく働いたことが挙げられ
るでしょう。データによるとロンド
ン在住者の実に4割がイギリス国
外の出身（かくいう私自身、彼の地
では「外国人」だったわけですが）。
実際、街を歩くと様々な出自の
人々が行き交いますし、「英語」と
一口に言っても、実に多様な「なま
り」の英語に出会い、ただでさえ貧
しい英語力の私は聞き取りに苦労
を強いられました。また、私がロ
ンドンに赴いた直後に、ロンドン市
長選挙が行われました。日本で言
えば東京都知事選に雰囲気は近い
と思います。そこでパキスタン系イ
ギリス人のイスラム教徒、サディク・
カーン氏が当選したことが話題と
なりました。イスラム教徒である
点に着目したネガティブ・キャンペー
ンもあつたように聞きますが、そ
れをはねのけての当選は、保守党
から労働党が市政を取り返したと
いう以上にシンボリックな意味があ
るように思います。

また、昨年アメリカではアメリ
カ第二主義を唱えるドナルド・トラ
ンプ氏が大統領に選ばれたという、
衝撃的な出来事がありました。ロ
ンドンではトランプ氏の大統領就
任を批判するデモも目につきました。
大西洋を隔てた彼の国の大統領選
になぜ？という疑問もあり得ます
が、いわゆる排外主義の問題はロ
ンドンでも決して無縁ではなく（実際、
国民投票後には東欧からの移民に
対するヘイトクライムが増加傾向に
あると言われます。また、「二度
でしたが、私も心ない申傷をされ
たことが、残念ながらありました）、
無関心ではいられない人々が少な
からずいることの証左だったのだと思
います。

Abroad Experience in London

ロンドンには 「メシマズ」か？

堅い話が続いてしまいましたが、
閑話休題。渡英前、よく聞かされ
たのが「ロンドンのメシはマズイ」と
いう話。異口同音にロンドン、広
くはイギリスの食事はマズイ、との
忠告をいただきました。さて、そ
の真相はというと…？

結論を言えば、少なくとも私に
とっては、そのようには思われなかつ
た、というのが正直なところ。自
炊するに際しても食材は豊富で、
しかも、感覚的には日本よりも安
く入手できる食材が少なくなくなっ
たと思います。我々の場合円高に
救われた、という部分もかなり大
きいのですが、スーパーで売られる
野菜や肉のたぐいは日本よりも2、

3割は安い印象がありました。ま
た、こちらは値が張るのですが日
本をはじめとしてアジアの食材を
専門的に扱う店もロンドン市内に
は複数あり、滞在期間の後半は米
食が主となりました。

そして外食しようと思うと、そ
こはさすが世界から人が集まる街、
様々な国の料理に接することにな
りました。私たち夫婦は、よく
ロンドンを代表するフードマーケッ
トであるポロマーケットや、大
学のキャンパス内で週に1度開か
れるフードマーケットに足を運んで
「フィッシュアンドチップス」を食べ
たり、イギリスの日曜を飾る伝統
的な食事「サンデーロースト」（ロー
ーストした牛肉や羊肉をグレイビー
ソースでいただきます）を食したり
したものでした。もともと、外食の
場合、いささかポリューミーで食べ
きれないことが時折あつたこと（屋
台の料理を、しばしば夫婦でシェア
してなんとか食べきった、なんてこ
ともありました）、そして、日本
に比べるとやはり割高感が拭えな
かつたことは確かだと思えます。日
本で外食をすると「安くてうまい」
がなかば当然視されている気がし
ますが、ロンドンでは「味は値段に
比例する」ようです。



ロンドンの「沖縄」 ーロンドン沖縄 三線会のことー



二人とも沖縄出身であった私と
妻のロンドンでの生活で欠かすこ
とができなかったのは、「ロンドン
沖縄三線会」というサークルでし
た。ロンドン大学を構成する組織
の一つである東洋アフリカ研究院
(SOAS, Univ. of London)で日
本・沖縄民謡を研究していたDr.
David Hughesを中心として結成
されたサークルです。週1回、沖
縄の伝統的な弦楽器「三線」とや
はり伝統的な郷土芸能「エイサー」
の練習をするこのサークルは、しば
しばさまざまな場所に呼ばれてそ

のパフォーマンスを披露するとも
に、毎年1回、6月23日（慰霊
の日）前後に「沖縄デー」という
沖縄の文化を紹介するイベントをロ
ンドン市内で開催しています。参
加者もイギリス、アメリカ、フラン
ス、中国、そして日本など、実に様々
なバックグラウンドを持った、それ
自体多様性に満ちたサークルです。
私たちは、やはり以前ロンドンに
留学されていた同僚にして同郷の
宮平真弥・法学部教授のご紹介で
参加する機会を得ました。ロンド
ンという街で、「沖縄」という名の
下に、多様な文化的背景を持った
人々の「チャンプルー」（沖縄の炒め
物料理。いろいろ混ぜて炒めるとこ
ろから転じて、「多彩な人・もの
の集まり」を指す言葉として用いら
れることがあります）が実現してい
たのを目の当たりにし、胸が熱く
なるのを覚えました。沖縄か
ら遠く離れた地で、私たちの
故郷の文化に何かを感じ、そ
れをロンドンで花咲かせてくれ
る人々と親交を取り結ぶこと
ができたことは、私と妻にとっ
て間違いなく今回の留学期間
のかけがえのない「成果」のひ
とつです。

イギリスに飽きた者は…

イギリスのある著名な文
学者が、「ロンドンに飽きた
者は人生に飽きた者だ」と
言ったそうです。その背景に
は負の歴史があることも忘れては
ならないものの、イギリスは名実と
もに「世界の中心」を担ってきた国
の一つであることに異論はないと思
います。その首都ロンドンにはさま
ざまな人と文化が集まり、多彩な顔
を持った懐の広い街だったというこ
とを、わずか1年の生活とはいえ
十分に思い知らされました。

国民投票後のイギリスの動向に
は少なからぬ懸念があることも確
かですが、「多様性の都」が作り上
げてきた魅力は容易に損なわれな
く、今後も輝き続けるのだと信じ
たいところです。





[新松戸キャンパス図書館]
渡邊智康 係長
Tomoyasu Watanabe

真理はあなたを
自由にする

2017年2月にみなさんに図書館の魅力を伝えるために大阪からやってきました。

「富士山の高さは?」「日本の人口は?」こんな疑問はsiriやgoogleですぐに答えが見つかる時代が来ました。もちろん図書館でもこの問題には答えられますが、図書館がみなさんに提供する情報はこんな浅い答えだけではありません。

一歩進んで、「AIで自分たちの暮らしはどうなるの?」などの考える「きっかけ」と「先人たちの知恵」をみなさんに提供するのが大学図書館の大きな仕事です。

それだけではなく、アクティブラーニング、ディープラーニングなど知的な大学生活を送る空間も提供します。

でも、みなさんにもっともっと図書館を好きになってもらうために、まだまだ模索中です。みなさんが思っている図書館の枠にはまらず、「あれして!これもして!!」という要望にどんどん応えて進化していきたいと思うので、まずは図書館に来てくださいね。

心よりお待ちしております。



[スポーツ健康科学部]
長谷川由貴 助教
Yuki Hasegawa

苦手なことにも
挑戦してみよう

2016年4月にスポーツ健康科学部に着任しました。専門分野は英語教授法で、学習者がどうしたらよりよく英語を学べるかを研究しています。けれども元々は自分が教員という職に就くとは思っていませんでした。中学校時代に英語ができることを理由に嫌がらせを受けたことがあり、英語が話せることはできるだけ隠して生きていこうとさえ思っていました。

しかし前任校にいた時に、CELTAという英語指導者資格をイギリスに短期留学して取得してくるよう任命されました。初めは行くことがとても憂鬱だったのですが、実際に体験して初めて英語を教えることの奥深さや楽しさを知り視野が広がりました。そこが英語を教える道への第一歩でした。

その経験から気が進まないことでも挑戦してみる大切さを知りました。今は苦手に感じている人も、少しだけ勇気を出して英語に触れてみると意外と面白い、と思ってもらえるような授業をしていけたらと思っています。



[スポーツ健康科学部]
龍崎 孝 教授
Takashi Ryuzaki

「スポ健流」の実学主義
とは、を心に

2016年4月に本学に赴任しました。学生との日々の対話が33年間の報道記者生活に慣れ切った頭と体を覚醒させてくれます。

学生と向き合っただけ気がつきました。意見の表明は苦手ですが、文字に綴らせてみると、実に繊細かつ個性豊かな意見を持っていることに驚きました。スポーツ健康科学部が学生に求めるものの中に「think globally, act locally」という言葉があります。流経大生の中に潜んでいる明るさと思考の豊かさをどのように実際の行動に転化させるか、つまり「考えながら行動する人材」を生み出し、地域社会での活動に結び付けるか、それが実社会から大学に移った私の役割だと思っています。

担当はメディア・ジャーナリズム論になりますが、「副業」は列島の災害と地域の人々の暮らしのかかわりを民俗学的な視座からアプローチすることです。専門的な知識を、地域への感謝と愛を基底にしながら生かせる思考、いわば「スポ健流」の「実学」の構築ができればいいなと思っています。



[法学部]
原 敏弘 教授
Toshihiro Hara

自由であれ、
しかし、フェアで

2017年4月に法学部に着任しました。専門は、経済法です。

経済法というと、皆さんには馴染みがないと思いますが、カルテルや入札談合を禁止している独占禁止法を中心とした法律のことを言います。公正かつ自由な競争を促進することを目的としていることから、競争法とも呼ばれています。

私は、2017年3月までは、公正取引委員会という役所で公務員として、独占禁止法の運用に携わってきました。経済法の背景にあるのは、経済の原理です。経済法を学ぶことは実際の経済を理解することでもあります。

公正かつ自由、言い換えれば「自由であれ、しかし、フェアでなければならない」という経済法の精神は、私たちにとっても必要なものです。私は、講義やゼミを通じて、経済法の精神を学生の皆さんにお伝えできればと思っています。



[社会学部]
佐藤尚人 教授
Naoto Sato

自分を見つめることの
大切さと難しさ

私が専門とする領域は、臨床心理学・カウンセリングです。講義やゼミでは「心の問題・悩み」について、その理解や対応を、学生さんたちと考えています。

このようなことを考える時、中心に来るテーマが「自分を知る(見つめる)」ことです。言葉で言うのは簡単ですが、「自分を知る」ことほど難しいことはありません。二千数百年ものるか昔から、哲学や宗教でも問われ続けてきたことです。私も、自分の専門ですが、還暦を過ぎた今でも「自分のことがよくわからない」状態です。長い人生の中でも、特に悩み多き時代と言われる若い人たちと一緒に、困難な作業ではありますが、逃げずに、「自分とは何(者)か」を問い続けています。答えはそれぞれの「自分」にしかわかりません。一人ひとり違うものです。見果てぬ夢、虹をつかむ話かもしれません。それでもあきらめないことが大切であり、まさに「生きること」そのものだと思います。



[経済学部]
池村恵一 教授
Keiichi Ikemura

会計で企業の経営活動を
読み解こう

私は、2015年4月に経済学部に着任しました。専門は会計学で、講義はおもに「簿記論I・II」と「会計学I・II」を担当しています。

企業は自身の経営活動を売上高や利益などの会計数値にまとめて発信します。会計数値には、企業がどのような経営活動を行ってきたのかという背景情報が織り込まれています。会計はビジネスの言語ともよばれており、それを学ぶことで企業の経営活動を読み解くことができます。

ゼミや講義にあたっては、学生たちに、会計を学ぶことで企業の経営活動の状況がよくわかるようになる、ということをお伝えしています。会計数値は、企業の経営活動の実績値であり、企業ごとに個性があらわれます。私自身も、学生とともに、会計数値を通して企業の個性がみえてくることに楽しさを感じています。「ほら、何かみえてきたでしょ?」と学生に問いかけながら、また、ちょっとした宝探しの気分を学生とともに味わいながら、これからも教育活動に従事したいと思っています。

馬場啓一の
RKU
ウォッチング
RKU Watching

●坂本侑翼／さかもと・ゆうすけ
1998年、千葉県君津市出身。
流通経済大学付属柏高等学校在学中
に本格的にラグビーを始める。本学入
学後、1年生ながらラグビー部レギュラ
ーとなり、現在はフランカーとして活躍中。



【第28回】

スポーツ健康科学部1年
坂本侑翼くん
(ラグビー部)

Yusuke Sakamoto × Keiichi Baba

文武両道のルーキー

体格もよく、アタマもよいラグビーのルーキー。本学の新たなヒーローの誕生である。

ラグビーが盛んな我が流経大付属柏高校から2017年の春、本学に入学してきた。特別奨学生に選ばれ、1年生なのにレギュラーにも選ばれた文武両道の学生である。

「ポジションはフランカーです。背番号は7番」

受け答えもしっかりしている。付属高校のときはラグビー部に60人いたという。

ちなみに、「大学のラグビー部には170人の部員がいます」

それにしてもラグビー部170人の中から1年でレギュラーに選ばれるのは、相当に高く能力を買われたからだろう。

「ラグビーは5歳の時から始めました。友達に誘われたのです」

ちなみに長男で、下に妹と弟がいる。

「小学校でラグビー部に入りましたが、中学ではラグビー部がなかったのでサッカーをやりました。ゴールキーパーでした」

それで高校ではラグビーに戻り、めきめき腕を上げた。なにしろ中学3年の時の体重が50キロ。それが高校へ入って65キロになり、大学生の今は90キロである。

どうしたら体重がそんなに増えるのかね。

「とにかく食べることです。それしかありません」

寮生活だから三度の食事はみんなと同じである。だがそれ以上に食べたい。そこで夜食を（自分で）用意して、夜更けに食べる。

「チャーハンとか焼きそばとか、主に炭水化物ですね」

一日4食。これが坂本君の強

さの秘密なのだ。

「足りない部分はプロテインなどで補うようにしています」

ラグビーで大切なのは、これがメンタルなスポーツであるということ。

坂本君は言う。

「肉体と肉体のぶつかり合いだから、体力だけの勝負とかわるがちですが、実はとてもメンタルな競技で、アタマを使わないと試合に勝てません」

ここで文武両道が効いてくるわけだ。

「シーズン中は実戦練習がメインです。ウェイト・トレーニングはシーズンオフに集中してやり

ます」

本学OBでは東芝の湯原祐希選手、クボタの合谷和弘選手が憧れであり、目標だ。

プライベートを尋ねてみた。

「好きなアイドルはいませんが、歌手ではSuperfly。『愛をこめて花束を』が、お気に入りです」

星座は「さそり座」。このインタビューの前日が誕生日だった。満19歳である。

「好きな女の子のタイプは、元気で明るい子」

本人曰く、まだ特定の女性はいないそうだ。

新設されたスポーツコミュニケーション学部の1期生である。学友の男女の比率は7対3。

焼肉とラーメンが大好きな、どこにでもいそうな青年だが、筋肉の盛り上がり方と、闘志を秘めた精悍な顔つきが、只者ではない。

「苦手な科目は国語です」
言ってくれるよね、小生の担当は現代文章論である。



地域社会との共存共栄や、
地域に貢献できることが、
この仕事の
何よりの魅力です。

——今井さんが本学に入学されたきっかけはどのような理由だったのですか？

私は幼少の頃から東金に在住し、父がこの南総通運に勤務しておりました関係で、昔から会社の倉庫が遊び場のような環境で育ち、運送業は私にとって見慣れた風景でした。流経大では物流を学問として体系的に学ぶことができる知り、入学を決めました。

——大学時代はどのような生活でしたか？

講義は真面目に出て、テスト勉強なども頑張っていた方だと思えますよ(笑)。

生まれて初めてひとり暮らしをするようになったのですが、当時住んでいたアパートに流経大の

と思っているふしもありましたね。でも私は小さい頃から運送業を見てきていたので、「当然のことだ」と考えていました。作業職と営業事務職とが連携して職場が成り立っているのですから、作業が一体化するためにいろいろな業務をこなすことや忙しいことは、むしろやりがいたとも感じていました。

あとは、私自身、もともと人と接したり話をするのが好きという性格も、この仕事に合っていたのかもかもしれません。

——2005年に現在の南総通運に転職されたんですね。現在のお仕事の魅力をお聞かせいただけますか。

家庭の事情で東金に戻ってまいりまして、常務執行役員 副社長などを経て、2017年6月29日に代表取締役社長に就任しました。

物流業界一般に言えることかもしれませんが、地域社会との共存共栄や、地域への貢献ができることが、この仕事の何よりの魅力です。物流がストップすることは地域に甚大な被害が出てしまいますので、地域インフラとしての物流の使命、それから上場企業として地域の人々から信頼・感

OB/OG訪問

立川が聞く。

今回は、本学経済学部を1982年にご卒業され、現在、南総通運株式会社の代表取締役社長をなさっている今井利彦さんをお訪ねしました。

第14期生
(1982年3月 経済学部卒業)

今井利彦さん
Toshihiko Imai

〈取材〉
立川和美 (社会学部教授)



Wonderful
Life Stories
with
Dr. Kazumi
Tachikawa



今井さんは一つひとつの質問に、穏やかに丁寧に答えくださる大変物腰の柔らかい印象の方です。その一方、お休みの日はご自宅の近辺を8キロから10キロ近くジョギングされているとのこと。「東京マラソンに申し込んでいるのですが、今年こそは当選して走れるといいなと思っているのですよ」と、大変アクティブな一面もお持ちでした。

学生がたくさん下宿していて、多くの友達を得ましたね。和歌山、広島、高知などそれぞれ日本全国から来た友達ができ、夏休みには彼らの実家に遊びに行ったり、私の実家に招いたり、そこでワイワイ過ごすことが本当に楽しかったです。今でも彼らとは連絡を取り合っていますよ。

あとは、いろいろなアルバイトをしたのも良い思い出です。百貨店やレストランをはじめ電化製品の工場、配達業務など何でもやりました。

——就職先を決めるにあたってはどのような希望があったのですか？

個人的には漠然とホテル業界などがいいな、と思っておりまし

——会社のトップのお立場から見た求める人材とはどういった方ですか。

自立型の人材ですね。自ら考え、行動できる力のある人です。会社の経営陣の人数は限られておりますので、常に全てを見ることは不可能です。どうしても支店や課といったユニットで、問題を解決して前へ進み成果を出すことが必要になります。その時に指示を待っているようでは困ります。自分たちで何をすべきか考え、動いてほしいわけです。

——こうした「自立型」の人間になるために必要なことについて、流経大生にアドバイスをいただけますか。

第一に、積極的に行ういろいろな経験を積むことだと思います。通常、会社に入ると10年くらいは様々な業務を経験するローテーション人事によって潜在能力を引き出してもらえますが、学生時代は自分でそれをしてほしいと思います。つまり、勉強でもアルバイトでも、まずは自分で興味があることなら何でもよいと思うのですが、ともかく取り組んでみて

た。ところが実際に就職活動を開始するにあたり、大学の就職部で、大学での成績もなかなか頑張っているのだから日本通運の就職試験を受けてはどうかと勧められました。大学から推薦を頂いてからかなり迷っていたのですが、結局滑り込むような形で就職試験を受け、採用していただきました。

——最初希望されていたのとは違う業界に就職されたんですね。そうですね。日通入社後は、

ペリカン便等の営業や作業管理、一般貸し切り輸送の配車と営業管理などを担当し、東京西部地区の支店を回りました。その後、人事管理や労務管理といった管理職に就くようになりました。

——ずいぶんいろいろな業務を経験されたんですね。戸惑いなどはありませんでしたか？

入社直後、若手は朝早くから夜遅くまで、慣れない作業をいろいろとこなさなくてははいけませんから、同期は「どうしてこんなことをしなくてはいけないのだ」

ください。その一方で今度は、自分の足が向かない方面のことにも挑戦してみてください。こうした取り組みを通していろいろな物を見たり、先輩方に教えていただいたりしていく中で、自分はどういう立場に立つのかを考えることもできますし、自分の強みや弱みを知っていくこともできます。これを繰り返していくことが自己研鑽につながると思います。

第二に、コミュニケーション力を磨くということです。組織に入ると、自分ひとりの力ではいることには限りがあることを痛感します。チームで仕事をしていくためには、理解してもらうことが不可欠です。ただ、その理解は、それこそ人と人がぶつかり合って成されるものだと思うのです。現在私が携わっている物流業は、特に「熱い」世界ですから(笑)、相手に伝えて分かってもらうためのコミュニケーション力を持つことがとても大切だと思います。

——どうもありがとうございます。

付属柏高校部活動の活躍(文化部編)

前号(vol.33)で運動部を紹介しましたので、今回は文化部について紹介します。文化部は、現在「吹奏楽部、放送部、書道部、演劇部、美術部、茶華道部、文芸部、英語部、楽童部(軽音楽部)、箏曲同好会、数理研究同好会、将棋同好会」、合わせて12団体です。運動部と違って活躍してもあまり注目されることはありませんが、中には全国大会や関東大会に出場している部活もあります。

文化部の中心となって活動しているのが吹奏楽部で、県の吹奏楽コンクールではここ数年毎年金賞を受賞しています。強豪校と並んで県予選を突破し、これまでに何度か関東大会に出場したこともあります。最近、近隣自治体が主催するイベントでの演奏や医療・福祉施設でのボランティア演奏など幅広い活動をしています。デイズニールでの演奏や野球・サッカー応援なども毎年恒例となっていて、皆に元気と感動を与えています。

また、放送部は10年程前から高等学校文化連盟やNHK主催の全国放送コンテストに毎年出場しています。その実績が認められ、県高校野球選手権大会開会式のアナウンスや、柏市と柏ライオンズクラブからの依頼を受け、柏市民文化会館で行われた「梶田隆章教授ノーベル物理学賞受賞を語る講演会」の放送運営と映像記録

を担当したこともあります。今年もアナウンス部門でNHK杯全国大会へ推薦されました。

書道部も近くの県民プラザなどでパフォーマンスを披露したり、個人部門で国際高校生選抜書道展文部科学大臣賞を受賞したりしています。文芸部は全国高校文芸コンクールで入選、茶華道部は池坊主催の「花の甲子園」関東予選に出場、演劇部や英語部も東葛地区大会等で好成績を取っています。

文化部は価値観が多面的に存在しますので、運動部のように勝ち負けだけで判断できないものもあります。各々の興味関心を追求して完成度を高め、達成感を得ようと日々努力しています。多種多様な文化部ですが、全団体が一齐に展示・発表する秋の「流輝祭(文化祭)」は、毎年大勢のお客様で賑わいます。

本校の教育方針のひとつに、「スポーツや文化活動の振興」が掲げられていますが、文化部も運動部と同様に伸び伸びと活動できる環境をより充実させる必要があります。今後も、流通経済大学との連携を大切にしながら、部活動の更なる活躍と発展を願って支援していきたいと思っています。

皆様の温かい応援、よろしくお願ひします。 校長 林 静男



吹奏楽部(新体操部・チアリーディング部との共演)



書道部「流輝祭」でのパフォーマンス

サッカー部が全国高校総体で優勝!

2017年夏の全国総合体育大会(インターハイ)で9年ぶり2度目の優勝を遂げました。昨年は市立船橋高に敗れて準優勝でしたが、その雪辱を晴らし、見事通算5度目の「日本一」に輝きました。



流通経済大学50周年記念事業募金にご協力いただいた皆様(3)

(平成29年6月1日~11月30日までのご入金分を掲載)

前号に続き、流通経済大学創立50周年記念事業募金にご協力いただきました方々のご芳名を掲載させていただきます。

ご寄付金は有意義に使用させていただき、ご芳名は永久に銘記させていただきます。皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

平成29年12月 流通経済大学創立50周年記念事業募金室

※掲載はご許可いただいた方のみです(敬称略)。

<p>法人</p> <p>25万円</p> <p>野村證券(株)</p> <p>20万円</p> <p>(有)石間企画事務所</p> <p>(株)普井書店</p> <p>10万円</p> <p>(株)セイエイ</p> <p>1万円</p> <p>(有)萩原清掃社</p>	<p>卒業生</p> <p>3万3000円</p> <p>宮田 貢</p> <p>1万円</p> <p>文随 仁志</p>	<p>在校生(保護者含む)</p> <p>2万円</p> <p>舟山 留美子</p> <p>1万円</p> <p>吉田 守</p> <p>ご芳名のみの方</p> <p>泉谷 和伸</p> <p>小泉 良介</p>	<p>一般</p> <p>ご芳名のみの方</p> <p>石山 昭一</p>	<p>教職員</p> <p>ご芳名のみの方</p> <p>辻原 康夫</p>
---	---	--	---------------------------------------	--

流通経済大学創立50周年記念事業 寄付金募集
〈募金要項〉

- 募金の名称 流通経済大学創立50周年記念事業資金募集
- 募金の目的 流通経済大学創立50周年記念事業資金の一部に充当
- 募金目標額 10億円
- 募金期間 2015年1月1日より2019年12月31日まで(5年間)
- 寄付金額の単位 (1) 法人 1口10万円(1口以上)
(2) 個人 1口1万円(1口以上)
- 寄付金の申込及び払込方法 (1) 法人の場合
寄付金のお申込み及び払込みは、寄付申込書2通(本学宛および日本私立学校振興・共済事業宛)に、それぞれ必要事項をご記入ご捺印のうえ、返信用封筒で本学募金室宛ご送付いただき、本学所定の払込書を用いて、銀行又は郵便局から振込願ひます。日本私立学校振興・共済事業団を経由し寄付金を受領した後、追って免税関係書類(日本私立学校振興・共済事業団発行の「寄付金受領書」)を本学よりご送付申し上げます。
(2) 個人の場合
寄付金のお申込み及び払込みは、次の2つの方法を選択することができます。
なお、寄付金受領後、追って免税関係書類として本学発行の「寄付金領収証」および文部科学省認可の「特定公益増進法人証明書」、「税額控除対象法人証明書」の写しをご送付申し上げます。
a. 「寄付申込書」に必要事項をご記入ご捺印のうえ返信用封筒で募金室宛ご送付いただき、本学所定の払込書を用いて、銀行又は郵便局から振込願ひます。
b. インターネットをご利用のうえ本学の寄付金専用サイトにアクセスし、寄付申込項目を入力し、クレジットカード、コンビニ、ペイジーのいずれかで決済願ひます。
- 個人情報について 寄付金のお申込みにあたって記入いただく個人情報は、本来の目的(礼状、領収証送付、ご寄付者芳名録作成、必要がある場合のご連絡)以外には使用しません。また、個人情報の管理は厳重に行います。

日本ラグビーフットボール協会が スポーツ庁長官感謝状受章

10

日本ラグビーフットボール協会（JRFU）が取り組んでいるアジアンスクラム・プロジェクトの一環として、龍ヶ崎キャンパスで実施された「World Rugby & Asia Rugby Performance Development Workshop（PDW）」が、スポーツ・フォー・トゥモローにおける功績を認められ、スポーツ庁長官感謝状を受章しました（PDWは本学も協力して毎年開催されているワークショップです）。

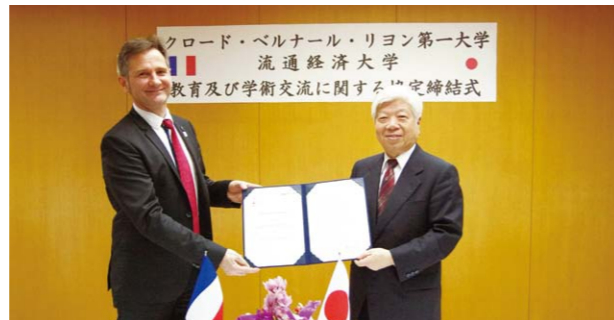


クロード・ベルナル・リヨン 第一大学と協定締結

7

本学とフランスのクロード・ベルナル・リヨン第一大学の教育及び学術交流に関する協定が2月20日、締結されました。

リヨン第一大学は、科学分野を専門とする名門大学で、スポーツ科学の分野等における本学との連携が、双方のグローバルな教育と研究の発展に大きく寄与するものとの考えで一致し、今回の協定締結の運びとなりました。



リヨン第一大学のオリヴィエ・ニエール教授（左）と野尻俊明学長（右）

留学生が「チーバくん大使」に

4

2017年度千葉県国際親善大使のチーバくん大使に、ベトナム出身のトラン・トゥアンさん（流通情報学科2年）が任命されました。

今年のチーバくん大使は、多くの応募者の中から10カ国、20名が任命されました。これからの1年間、チーバくん大使として千葉県の魅力を体験しながら、その情報をSNSで世界に発信する役割を担います。



第52回つくばね祭開催

1

龍ヶ崎キャンパスの学園祭「つくばね祭」が、10月28日、29日の2日間にわたって開催されました。

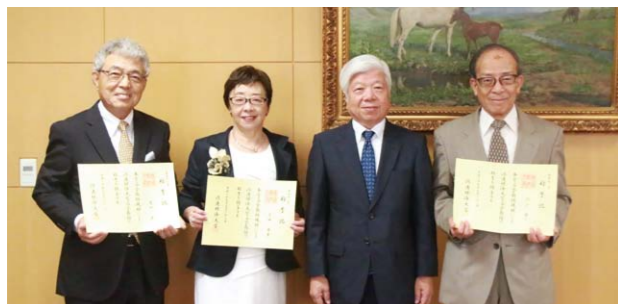
学生による模擬店や演技披露、ゲーム大会などが企画され、OB・OGや地域の方々にもご来場いただき、盛況となりました。



名誉教授の称号授与

11

新松戸キャンパスにて6月30日、3月末で定年退職された本学の元教授3名に名誉教授の称号が授与されました。写真左から香川 眞先生（社会学部）、古田朱美先生（流通情報学部）、右端が河合榮三先生（経済学部）。



青年海外協力隊に関する 連携覚書署名式

8

JICA筑波と本学の青年海外協力隊に関する連携事業について、7月25日に龍ヶ崎キャンパスで、覚書の署名式を行いました。

今回の連携により、本学スポーツ健康科学部の西機真准教授の指導のもと、ラグビーフットボール部の学生・大学院生（含む卒業生）・教職員などが派遣され、インドネシアのラグビー選手を指導することとなります。



JICA筑波国際センター・高橋政行所長（中左）と本学・野尻俊明学長（中右）

交換留学生修了式

5

9月23日、静宜大学（台湾）からの交換留学生、陳芯儀さん（2016.9～2017.9）の修了式が龍ヶ崎キャンパスで行われ、野尻学長から祝辞と修了証書が授与されました。



父母懇談会開催

2

7月1日から9月10日にかけて、龍ヶ崎キャンパス、新松戸キャンパスの他、全国10カ所で父母懇談会が開催されました。懇談会では学業や就職についての説明があり、参加されたご父母の方々は担当者の説明に熱心に聞き入っていました。

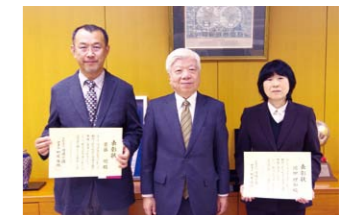


永年勤続表彰

3

30年にわたって本学に貢献してきた本学および付属柏高等学校の教職員に、永年勤続の表彰がされました。今回表彰されたのは、下記8名です。

岡田理加さん（国際交流課長）・齋藤明さん（総務課員）、高校の植村 宣さん（副校長）・川井清典さん（教諭）・小宮茂樹さん（教諭）・徳村康広さん（教諭）・長谷川 昇さん（教諭）・増田 猛さん（教諭）



クリスマスコンサート

12

毎年恒例の吹奏楽部のクリスマスコンサートが、12月17日に新松戸キャンパス講堂で開催されます。この日のために練習を重ねたクラシック、ポップスなどの名曲を披露します。



※写真は昨年の様子。

講座「響き合う歴史と宗教」 全4回終了

9

本学と松戸市教育委員会共催の講座「響き合う歴史と宗教」を10月7日より毎週土曜日に4回連続で開催しました。毎回約180名の受講者が集まり、盛況のうちに終了いたしました。



校友会奨学金一般奨学生が オーストラリアへ留学

6

経営学科4年の安城友裕君が、今年から新設された校友会奨学金一般奨学生の初認定を受け、4月30日、プリズベン（オーストラリア）に留学のため出発しました。



女子バスケットボール部が
リーグ3部昇格

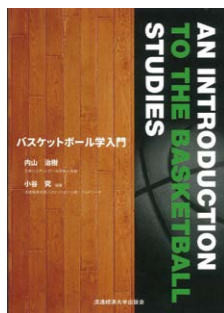
20

関東大学女子バスケットボールリーグ4部に所属している女子バスケットボール部が10月29日、東京学芸大学との入れ替え戦で勝利し、見事来年度3部昇格を決めました。



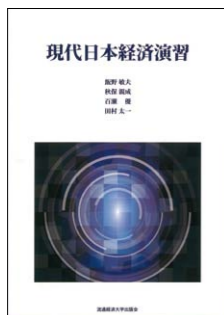
流通経済大学出版会から
新刊のお知らせ

21



『バスケットボール学入門』
内山治樹・小谷究 編著
(流通経済大学出版会)
2017年11月発行・A5判 並製 248ページ

バスケットボールの選手として活躍した後、後にコーチを目指す大学院生や、すでにバスケットボール競技の研究をしている人のための入門書。本学バスケットボール部ヘッドコーチの小谷究助教も執筆。



『現代日本経済演習』
飯野敏夫・秋保親成・百瀬優・田村太一 共著
(流通経済大学出版会)
2017年9月発行・B5判 並製 122ページ

本学経済学科の教員4名で執筆した、日本経済の仕組みと経済学の基礎知識が学べる経済学の入門書。現代の日本経済を主要な分野ごとに整理し、豊富な図表を用いて平易に解説する。

【編集後記】

●本号の冒頭は、本学教員のエッセイ「ロンドン留学余話」である。追求する学問の周辺にキャッチした文化や生活を描いている。私たちは、和らぎと幅をもつ研究者の文面に関心をよせたい。
●ついで、本号には、連載されている「馬場啓一のRKUウォッチング」がある。このたびは、ひとりの1年生ラグビー部員に焦点を当てている。掲載された写真を見ながら、目標に向かってひた

走る息吹を在学学生から感じたい。

●同じく連載の「OB/OG訪問 立川が聞く」がある。社会で活躍なさる本学卒業生へのインタビュー記事である。私たちは、積み重ねられた経験と紡ぎだされる箴言を先輩たちから学びたい。
●くわえて、本学のさまざまな情報を載せて、第34号をお送りいたします。
(編集子)

バトントワリングの
世界大会で銀メダル

17

スポーツ健康科学科4年の齋藤真菜さんが、クロアチアで8月9日～13日に開催されたバトントワリングの世界大会「第9回WBTFインターナショナルカップ」に出場し、「エリートスリーバトン 女子アダルト」の部で見事、銀メダルを獲得しました。



アクアボードの
全日本大会で優勝

18

スポーツ健康科学科3年の島崎渉君が、9月23日、24日に開催されたアクアボードの全日本大会「アクアボードジャパン チャンピオンシップ」に出場し、FOOT JET Proクラスで見事優勝しました。昨年に続いて2連覇となります。
アクアボードとは、足につけたノズルから噴き出す水の水圧で空中に浮遊し、さまざまなアクションをする新しいマリンスポーツです。

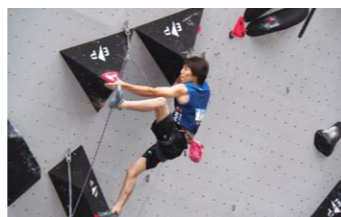


クライミング・ワールドカップに
出場

19

国際観光学科3年の島谷尚季君が、日本代表の一人として、9月23日～24日にスコットランドで開催されたIFSCクライミング・ワールドカップ(L, S) エジンバラ2017に出場しました。これは、東京オリンピックの正式種目になったスポーツクライミングの世界の大会です。

昨年の7月15日～16日に開催されたIFSCクライミング・ワールドカップ villars大会の様子



軟式野球部が全国大会に出場

14

8月20日から長野県で開催された第40回全日本大学軟式野球選手権大会に、軟式野球部が関東新大学野球連盟の代表として出場しました。

結果は1回戦で関西六大学野球連盟代表の立命館大学と対戦し、残念ながら敗退しましたが、選手たちは気持ちを切り替え、次の試合に向けて練習に余念がありません。



女子ハンマー投で
優勝、3位

16

10月20日～22日に愛知県パロマ瑞穂スタジアムで開催された第33回U20日本陸上競技選手権大会の女子ハンマー投において、本学学生が次のとおり優勝および3位入賞を果たしました。

- 【優勝】小館充華さん(スポーツ健康科学科1年) 記録55m59
- 【3位】金子明奈さん(スポーツ健康科学科1年) 記録54m67

左が小館さん、右が金子さん



陸上競技部員が
世界ランキング19位

13

陸上競技部(駅伝ブロック)の鎌田広海君(経済学科4年)が2016年6月26日に開催されたサロマ湖ウルトラ100kmマラソンにおいて6時間45分21秒という記録を樹立しました。

この記録は2016年度の世界ランキング19位となり、第96回関東学生陸上競技対校選手権大会最終日(2017年5月21日)の栄章授与式において鎌田広海君と指導者である大胡満慎駅伝監督が関東学生陸上競技連盟会長から表彰されました。



サッカー部からU-20日本代表メンバー

15

12月6日に開催される「M-150カップ2017」に向けたU-20日本代表メンバーが発表され、本学サッカー部のオビ・パウエル・オビナ君(ビジネス法学科2年)がゴールキーパーとして選出されました。



〈お知らせ〉

新松戸キャンパスでの
保育士養成を申請中

社会学部社会学科では、2009年度より厚生労働大臣指定の養成施設として、龍ヶ崎キャンパスを中心に保育士養成に取り組んできました。

2018年度に向けて手続きを進めてきました結果、9月末に千葉県への保育士養成の申請が受理され、新松戸キャンパスのみでも保育士養成を完結できる予定となりましたので、お知らせします。



全学部
共通

2018年度入試日程

経済学部	経済学科・経営学科
社会学部	社会学科・国際観光学科
流通情報学部	流通情報学科
法学部	ビジネス法学科・自治行政学科
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科・ スポーツコミュニケーション学科

入試種別	期	出願期間(必着)	試験日	合格発表	試験場	
一般	3科目型 2科目型	I	12/11月～1/26金	2/2金	2/8木	龍ヶ崎・新松戸・東京・仙台・水戸・長野・静岡
		II	12/11月～2/9金	2/16金	2/21水	龍ヶ崎・新松戸・東京・盛岡・新潟・水戸・宇都宮・岡山
		III	12/11月～2/23金	2/28水	3/6火	龍ヶ崎・新松戸・東京・仙台・水戸・高崎・静岡
	得意科目型 (1科目受験可)	I	12/11月～1/26金	2/3土	2/8木	龍ヶ崎・新松戸・東京・仙台・水戸・長野・静岡
		II	12/11月～2/9金	2/17土	2/21水	龍ヶ崎・新松戸・東京・盛岡・新潟・水戸・宇都宮・岡山
		III	12/11月～2/23金	3/1木	3/6火	龍ヶ崎・新松戸・東京・仙台・高崎・静岡
		IV	12/11月～3/7水	3/12月	3/15木	龍ヶ崎・新松戸・東京・水戸
	奨学生選抜	3科目型	I	12/11月～1/26金	2/2金	2/8木
II			12/11月～2/9金	2/16金	2/21水	龍ヶ崎・新松戸・東京・盛岡・新潟・水戸・宇都宮・岡山
III			12/11月～2/23金	2/28水	3/6火	龍ヶ崎・新松戸・東京・仙台・水戸・高崎・静岡
大学入試 センター試験 利用型		I	12/11月～1/30火	個別試験は 実施しない	2/10土	—
		II	12/11月～2/13火		2/21水	
		III	12/11月～3/9金		3/15木	
大学入試 センター試験 利用	3科目型 高得点2科目型	I	12/11月～1/30火	個別試験は 実施しない	2/10土	
		II	12/11月～2/13火		2/21水	
		III	12/11月～3/9金		3/15木	

得意科目型(1科目受験可)とは

国語、外国語、数学、簿記・会計から、それぞれ大設問を2問ずつ(合計8問)出題。そのうち2問を自由に選択できるので、得意科目で受験できます。

科目 選択の 例	国語が得意! 簿記・会計が 得意!	得意な1科目で 受験できます。	国語①と 国語②で受験	国語①	国語②	外国語①	外国語②	数学①	数学②	簿記・ 会計①	簿記・ 会計②
			簿記・会計①と 簿記・会計②で受験	国語①	国語②	外国語①	外国語②	数学①	数学②	簿記・ 会計①	簿記・ 会計②
	数学が苦手!	数学以外の2科目 でも受験できます。	国語①と 外国語②で受験	国語①	国語②	外国語①	外国語②	数学①	数学②	簿記・ 会計①	簿記・ 会計②

入試センター ☎ 0120-297-141 ✉ ees@rku.ac.jp

RKU 流通経済大学

学報 **RKU Today vol.34** 2017年12月発行
編集・発行 / 学校法人日通学園 流通経済大学
茨城県龍ヶ崎市120 〒301-8555 TEL:0297-64-0001(代表)

